

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くれよん			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 家庭	(回答者数)	8家庭
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの話ややりたいことを受け止めてだけでなく、ご家族にも寄り添い、丁寧にご家族の話聞くことで、子どもたちやご家族が安心して通所していただくことに繋がっている。	子ども1人1人の気持ちに寄り添い、思いを受け止めて関わることを大切にしている。また、ご家族の思いも面談時うかがい、子どもにもご家族にも寄り添うことを心掛けている。	今後も継続して、子どもの思いややりたいことに耳を傾け、気持ちを受けとめる関わりを大切に、ご家族の思いも丁寧に聞いていく。お子さんとの関わりで困っているご家庭には、専門的なアドバイスや助言ができるように、職員のスキル、支援の質の向上を目指す。
2	子どもや保護者からのニーズを聞き、課題を理解して、将来必要な社会スキルを設定し、そのお子さんに合った個別支援計画を策定して、支援を展開している。	将来必要な社会スキルの習得のための目標の設定、毎月の会議で目標の達成度合いを確認し、次の目標の検討を行っている。子ども達はその目標に前向きに取り組むための仕組みを作り、実践している。	個別支援計画策定の際に、アセスメントツールの見直しを今後検討していき、さらに充実した個別支援計画の作成を目指していく。
3	職員のスキル向上のための研修の受講、学びの機会が設定されている。	コモンセンスペアレンティングの研修を毎月実施している。その中で支援を見直し、対応方法をなどを学んでいる。定期的に職員間でスーパービジョンを行い、支援の相談や対応方法で困っていることを相談できる体制を作っている。	今後も、継続し職員の学びの機会を取り入れ、現場で統一した支援を展開できるように取り組んでいく。スーパービジョンを途切れさせないよう計画を立て、支援のことについて相談しやすい環境を維持していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページやSNSの活用ができていない。	ホームページやSNSを活用し、保護者の方へ活動の様子、行事の予定等を伝えられていない。紙面での発信のため、作成に時間を要することや、全員に配布できたかのチェックなどの業務が多くなっているという課題がある。	ホームページやマチコミアプリを活用し、手軽にたくさん情報発信ができる環境を整える。
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流の機会や、その他地域の子どもと活動する機会を持つことができていない。	保育所や認定こども園、幼稚園とは年に一回、通所児童の様子が見学、情報共有のみしかできていない。	年に1回だけでなく、半年に1回程度、保育所や認定こども園、幼稚園との交流の機会を作っていきたい。
3	各マニュアルを保護者の方に説明、周知をすることができていない。避難訓練、地震訓練は実施しているが、報告まで詳しくできていない。	マニュアルはあるが、職員も目を通す機会が少ないのが課題である。訓練後には、予定表のお知らせ欄で実施したことは伝えているが、どのように避難したかなどの詳しく伝える事ができていない。	各マニュアルの整備、マニュアルの配布、周知を行っていく。避難訓練等を実施した際は、簡単な報告書を配布し、保護者の方に内容を把握してもらえるよう工夫したい。また、マチコミアプリを利用し、子どもたちの様子も発信できるよう検討していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	くれよん		公表日		2026年 3月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	遊ぶ場所や活動の場所を時間によって分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	職員数が限られている中で他事業所と協力して支援を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議で話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		児童発達支援では第三者評価を実施できていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		一人一回以上は研修を受けることが出来た。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			令和8年度においては、公表しているプログラムを見直し、改めて公表することを検討している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		もう少し細かいアセスメントが必要に感じる。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	できない日もあるが、その都度確認して支援している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	子どもたちの様子を共有できている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		親子行事や茶話会などを実施し、保護者同士で交流できる機会は作っているが、多くはないため回数や内容の検討が必要である。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		写真カードで意思を伝えられるように支援している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		地域行事に子どもたちが参加することはあっても、事業所の行事に地域住民を招待することは行っていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4		マニュアルの策定はしているが、実施できていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3		策定しているが、避難訓練の実施ができていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		アレルギーのある子どもについては、保護者から説明をいただき対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くれよん

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数 14 家庭

回収数 8 家庭

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8				体育館で体を動かしたりトランポリンもあって十分だと思う。	運動するためのスペースは十分にあるため、お子さんに合わせた活動を今後も行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6			2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7			1	・ 託児もつけて頂いて参加しやすくとも勉強になる。体験させてもらったペアレントトレーニングはとても勉強になった。 ・ 情報提供などはプリントがあるが参加できなかった方などにも何か提供があった方がいいのではないか。 ・ 講座に参加させて頂き、とても勉強になり日頃の育児にも役立たせて頂いている。	・ 講座の情報提供については、プログラムの権利に関する決まり事があるため、参加された方のみお伝えできる内容となっています。ご了承下さい。 ・ 毎回、真剣に講座に参加していただき、ありがとうございます。これからもお子さんへの子育てと一緒に前向きに考えていけたらと思っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1			・ 連絡帳で丁寧に伝えてくれるのでくれよんでの様子をイメージしやすい。 ・ 連絡帳でのやりとりは出来ているが、送迎先を保育所にしていないため直接様子を聞く機会が少ないと思う。	・ 保護者の方のご都合に合わせて、お子さんの様子を直接お伝えする機会を作れるよう工夫していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1				
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8				いつも優しく温かく対応して下さいありがとうございます。	いつも事業所に対し、ご協力いただきありがとうございます。今後も安心して通っていただける事業所づくりに努めます。	

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1		1		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	1	1	行事の際、場所が変更していたが連絡がなかった。そのあたりを改善していきたい。	連絡不足で申し訳ございません。今後、このようなことがないよう、連絡確認を徹底していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			4		非常時等の対応については、どの項目においても『わからない』が多く散見されますので、周知の仕方を検討して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				くれよんに行ける日を楽しみにしています。保育所からくれよんに行く時はとても嬉しそうに自分で準備をして行っていると聞いています。	今後も、お子さんが楽しみにくれよんに通ってもらえるように、丁寧に関わらせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				・くれよんがあるおかげで親も子も落ち着いて過ごせています。 ・くれよんに通ってからとても成長が見られ色々なアドバイスをもらうことで私も子育てがしやすくなった。何かあっても相談することが出来てとても助かっている。	お子さんの成長を共有することができ、嬉しく思います。これからも子育てについて一緒に考えさせていただければと思います。